

# まちかど アルバム



用瀬町用瀬 ほか

## 無病息災の願いをさん俵に込めて

3月31日(金)、江戸時代から伝わる用瀬の伝統行事で、県の無形民俗文化財にも指定されている「流しびな」が行われ、この日を待ち望んだ観光客やカメラマンなど約5,200人が用瀬町を訪れました。この行事は毎年旧暦の桃の節句に、ひな流しとともに各家庭のひな飾りの一般公開や流しびなの製作実演などさまざまな催しが行われるものです。前日までの雪がうそのように晴れ渡ったこの日は青空の下、流しびなの館近くの千代川原で祈祷神事やひなのお焚きあげが行われたあと、晴れ着姿の女の子たちが次々にひなを流し、小さな手を合わせて無病息災を祈りました。

気高町農業者トレーニングセンター ほか

## 練習の成果をこの一戦に

3月25日(土)と26日(日)、気高町農業者トレーニングセンターと浜村小学校体育館を会場に、「第10回鳥取市気高スカロップ杯中学生バレーボール選手権大会」が開催され、中四国から集まった男女それぞれ12チームが熱い戦いを繰り広げました。この大会は、参加選手の技術の向上と交流を図るとともに、住民にも広くバレーボールに親んでもらうことを目的に平成9年から行われているものです。鳥取市からは、男子の部に気高中学校と青谷中学校が、また、女子の部に気高中学校、鳥取西中学校、鳥取南中学校がそれぞれ参加し、入賞には手が届きませんでした。どのチームも力の限り戦いました。



わらべ館

## 蝶に向かって扇をヒラリ



3月18日(土)、わらべ館で伝統遊戯「投扇興」を体験する「投げてみま扇んか？」が開催されました。投扇興とは、台の上に「蝶」と呼ばれる的を置き、投げた扇との位置関係によって点を決めるという江戸時代に生まれた優雅な遊びです。参加者は初めて挑戦するという人ばかり

で、なかなか思うようには扇が飛ばない様子でしたが、扇が見事、的に当たると、会場には拍手の音が響き渡りました。わらべ館では、この投扇興の企画展「扇は胡蝶と戯れて」を6月20日まで開催しています。

パレットとっとり

## おかげさまで1周年

4月8日(土)と9日(日)、中心市街地活性化の拠点施設である「パレットとっとり」のオープン1周年を祝う記念イベントが開催され、買い物客など多くの人にぎわいました。会場

では、パレットとっとりオリジナルの「笑い地藏鍋」の振る舞いやジャズコンサートが行われたほか、パレットとっとりと本通り商店街で買い物をした人を対象に商品券が当たるガラボン抽選会などが行われ、訪れたみなさんは満足した様子で会場を後にしました。

